



碧南ロータリークラブ週報

第2187回例会 平成15年8月20日(水) 雨. 最高34℃. 最低25℃

- 会長 加藤 良邦 ● 幹事 竹中 義雄 ● SAA 杉浦 成人
- 例会日 毎週水曜日 12:30 ■ 例会場 碧南商工会議所ホール
- 事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町90
TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100
ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp/>
E-mail: info@hekinan-rc.jp
- 会報委員 竹下 豊・新美惣英・鶴田光久・杉浦昌裕

2003~2004年度
国際ロータリーのテーマ
手を貸そう



Lend a Hand

● 斉 唱

ロータリーソング「今日も楽し」

● 本日のメニュー

和風弁当 とんがり帽子

● 本日のお客様

卓話講師 光岡 朗君



光岡地区会員増強委員長

会 長 挨拶

残暑お見舞い申し上げます。雨続きのお盆も終わり、暑さがぶり返して来ました。皆様、お身体にはご自愛いただきしたいと思います。本日は会員増強拡大月間ということで地区会員増強委員長の光岡 朗君をお迎えしての卓話例会でございます。宜しくお願い致します。

さて、私が檀家さんの家へ法要に参りますと、よく年齢を聞かれます。50歳少し前の頃、あるおばあさんに「おっさん幾つになられるね？」と聞かれましたのでいつもの様に「もう48になります。」と答えると「そうかね、男盛りだね」と言われました。男盛りという、ついつい20代30代の頃を思い浮かべてしまうわけですが、そのおばあさんの「男盛りだね」という言葉で「まだまだこれからだ」と、非常に元気付けられた記憶があります。最近では歳を聞かれ、「もう、還暦です」と答えると「もう、そんなになるのかねえ」「わし達も歳をとるはずだ」で終わってしまいます。

私の父は、孫が生まれるたびに色紙に命名した孫の名前を書き、「夢」という字と一緒に送っていました。「夢」は今を時めく阪神タイガースの星野監督が好んで使っていることで有名です。星野監督が書かれる「夢」は「男のロマン」「未来に向かって夢を持ち続ける」という意味であります。私の父の書きました「夢」は「自分の人生を振り返って」「夢まぼろしのごとく」という意味であると私は解釈しております。未来への夢と過ぎ去りし過去を大切にする夢、私たちは今を生かされております。感謝を持って今を生きていかなければいけないと思います。

幹 事 報 告

第2回理事会報告

45周年記念式典日程変更2004年3月21(日)実施

45周年記念式典編成表について(別紙資料)

7月分収支原案通り承認

新入会員(中部電力佐藤氏)承認9月3日入会式開催

新世代委員会の助成金（碧南市スポーツ少年団・碧南市スカウト育成連絡協議会）
会報委員会の予算より5万円をIT委員会の予算へ振替承認
社会福祉協議会へ会員全員入会、本会計より1人1,000円の会費支払
地区大会登録8月27日締め切り

委員会報告

〈出席奨励委員会〉

皆出席者表彰（皆出席20年以上に花贈呈）

42年山中寛三君 31年 新美 孝君 29年 榊原義嗣君 24年 井上達夫君

24年山田純嗣君 23年 森田英治君 21年 長田昌昇君 21年 杉浦健次君

皆出席11年表彰 杉浦成人君

総会員数 75名（内出席免除者 15名）出席者55名	
出席対象者 46/60名	出席率 76.7%
欠席者20名(病欠者0名)	前々回修正出席率 100%

※三週連続出席率100%の場合は記念品を差し上げます。

〈ニコボックス委員会〉

本日の卓話の講師 地区会員増強委員長光岡朗氏より卓話のお礼をニコボックスに頂きました。
加藤 良邦君 今年の盆 台風、雨とお陰にて無事に終わりました。杉浦健次さん有難う御座居
ました。

杉浦 健次君 中部新報に記事を書いていただきました。

岡田 越勇君 光岡地区会員増強委員長のご来碧を歓迎致します。

鈴木 敏弘君 本日卓話の講師として2760地区会員増強委員長の光岡先生をお招き致しました。
よろしくお願い致します。

杉浦 勝典君 中部新報の三河人に、あじさいの里の記事が載りました。これからも地域の人た
ちと協力して推進していきます。ありがとうございます。

竹中 義雄君 やっと夏本番 どうかご自愛下さい。

犬塚 敦統君 RC例会皆出席の皆様おめでとう御座います。20年以上の方々8名様特に。

長田 豊治君 藤井達吉翁調査隊で、新美孝さんにお世話になり、有難うございました。

清澤 聡之君 無事にお盆行事が済みました。涼しい日々で助かりました。

山下 照君 今年もお盆に岡山に帰って母親と食事をしてきました。有難うございます。

早退 10件 合計 40,000円

〈創立45周年記念式典実行委員会〉

第1回実行委員会報告

1) 2004年3月21日衣浦グランドホテルにて開催

2) 内容 記念式典・祝宴・記念事業・記念誌
予算 500万～600万円

3) 式典組織編成表（別紙）

次回第2回開催日9月3日例会終了後

卓

話

R.I.第2760地区会員増強委員長 光岡 朗君

私の会員増強についての考え方、過日6月14日に開催された地区ゾーン会員増強委員長会議で
の話、会員増強の現況について、この3点を中心にお話をさせていただきます。まず、私の会員増強
の考え方は、数を増やせばいいとは思っていないということです。その事を地区のいろいろな委
員会でお話申し上げたら大方の人が同じように思ってみえました。しかし、会員増強は必要だと

皆様当然のように思われていると思います。私は公認会計士という事もございまして、会員増強というのは企業にとっては売上に非常に似ているのではないかと考えます。会員増強はクラブで言うと売上のようなもので、売上がどんどん減っていけば、財政の問題が起これ、活性化が失われ、あるいはつぶれていくというようになりかねないと思っております。ですから闇雲に数を増やせばいいとは思っておりませんが、増強というのは必要で、増強に力を注ぐというのはロータリーアンとして必要なことであるという考えであります。昨年各クラブにアンケートを出しましたが、その回答の中には会員増強に対する痛烈なご批判を頂いております。ロータリーは拡大よりも合併をする時期に来ているのではないかと、会員増強という考え方はベクトル（方向）が違っているのではないかとというきびしいご批判がありました。会員数が減ってくると財政が悪くなるという事ですが、一方でクラブの経費をどのように節減するかという機運も起こっております。所属のあまクラブも会報の費用を大幅に削減いたしました。会費が減ることも然ることながら、それに対応していく力がすごいのではないかと、というのが私の基本的な考えです。6月の14日に開催された地区ゾーン会員増強委員長会議の中で、RI理事菅生浩三PGが「日本のRCは劣化した。RCがステータスだと思い込んで、それを強調して若い人を入会させない。ロータリークラブも100年を迎えるにあたりいろいろな事を反省し、考え方を考える時に来ている。」「若い人を入れなさい。」「女性会員が日本では2%、世界では10%である。女性会員を増やそう」「新会員を大事にし、退会を防ぐ。例会で自由に話が出来た雰囲気作りが必要である」と述べられました。あまクラブには入会資格70歳以上の「四季の会」が昨年出来ましてシニアの方に年に4、5回卓話をさせて頂くという事が始まりました。例会の中で自由に話をして存在感を出して頂くということです。3番目に会員増強の現況ですが、第2760地区は昨年（7月1日現在）と比べると今年（7月1日現在）は255人減少しました。10年ぐらい前に地区の予算を組みましたが会員数は6000人位にはなるという事で収入予算を組み、軽くそれをクリアしたのが10年前なのですが、それから1割は減っている（2003年7月1日現在5,482人）という現状です。前年度は330人の入会があったが、それ以上に585名の退会者がいました。いかに退会を防ぐかという問題があります。世界でいうと会員数は増えておりますが、日本の会員数は1997年から2003年にかけて2万人減っています。2760地区は日本のRCの中でどのような地位を占めているのか関心をもって見ておりましたら、数字は4月末のデータですが5678人で日本で1番会員の多いトップ地区でありました。2番目は2650地区で福井、滋賀、奈良、京都、大阪の一部も入った、かなり広い範囲の地区で5623人でした。

さて、8月5日の火曜日に地区会員増強委員会を開きまして「ロータリーはいいなあ」と思いました。受け付け10時30分、11時開始のところを、ほとんどの方が10時にお集まり下さり、また約2時間ディスカッションして頂いたのですが、リーダー、書記、発表者の役目を決めて行ないましたが非常に一生懸命取り組んで頂きました。内容はガバナー月誌に投稿いたしますが、「どのように会員増強するか」「退会をどう防ぐのか」「女性会員・親子会員の問題」「ロータリーを楽しくするにはどうしたら良いのだろうか」とか、そのような認識があって、ロータリーの良さが解って、新しい方に入会して頂くというのが本命であろう、と私自身は思っております。最後にあまRCでの会員増強の取り組みを参考までにお話します。あまRCは過去104名会員がおり今は92名に減りました。過去何年かの合言葉が「100名にしよう」ですが、今年は各委員会ごとに推薦者を1、2名出して頂いて各委員会が責任を持って会員増強をしようという取り組みであります。会員増強委員会ではかなりの意気込みでありまして、あまRCが率先垂範して会員拡大をしていこうと思っております。無理な会員増強はしてほしくありませんが、いいメンバーが碧南RCに入って頂けるような努力を皆さんでして頂きたいとお願いいたしまして卓話を終わります。ご静聴ありがとうございました。

次回例会案内／9月3日（水）「新世代のための月間」

碧南市スポーツ少年団・碧南市スカウト育成連絡協議会